
市長賞

題名 「十年後の津山のために」

学校名 津山市立佐良山小学校

学年 第6学年

氏名 岡田怜也 (おかだりょうや)

十年後の津山のために

僕の祖父や祖母は四人全員七十才くらいです。今は僕の御飯を作ってくれたり病院に連れて行ってくれたりしてくれらけど、十年後はみんな八十才くらいになっと思っています。今は自動車に乗って買い物に行ったり、病院に行ったりできるけど、十年後は元気でないかと自動車に乗って運転できなくなりそうです。そんな高齢者が十年後には今より増えると思います。だから僕は路面電車を津山の東西南北に走らせたら良いのではないかと思います。それは高齢者が自分で運転しなくて良いからです。そして路面電車は電気のエネルギーなので、緑の美しい津山の自然を守るために車などから出る排気ガスをなるべく減らしたり地球の温暖化を防ぐためにも良い方法だと思います。電気のエネルギーには太陽光やごみ処理場が出る熱のエネルギーや水力発電、風力発電を使えばいいと思います。

十年後は僕は二十二才になっていきます。大

学生になっていきます。

まだ何の勉強もしていないけれど、人のため役立つ仕事につきたいと考えています。そして、皆が住む津山に帰ってきて仕事をしたいです。

若い入達が津山に帰って仕事につくためにもっと農業や工業や産業が発展したらいいと思います。たとえげ、農作物の各産品も加工品を大量に作って全国発送して売るなどです。そうすれば仕事が増えて若い人や高齢者がた

くさん仕事ができると思います。僕は十年後の津山や自分のために今は一生涯懸命勉強やスポーツに励んで津山で過ごしたいと思います。

そして、十年後の津山を明るく発展した町にしたいです。